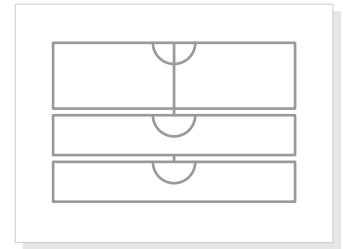


# 情報分析チャート

## 目的のために使うスキルと思考ツール

- 考え方を振り返るために**構造化**する
- 「**情報分析チャート**」を使うと…



## 使い方

問題（予想のテーマ）について気付いた「**事実**」と、問題に似ていること、関係しそうなことを連想して思い付いた「**知識**」を分けて考えることで、何と何を関係付けたから、**根拠のある予想**が立てられたのかを視覚的に振り返りやすくなります。

予想が立てられるまでの流れを構造化して、根拠のある予想をつくる際の考え方を振り返るために、情報分析チャートを使うときは、次のようにしましょう。

1. 上の段の左側には問題（予想のテーマ）について「**気付いた事実**」を書きます。
2. 上の段の右側には「**問題**」と似ていることや関係ありそうなことを連想して、それについて「**これまでの知識・経験や、他人から得た知識**」を書きます。
3. 真ん中の段には、上の段の2つを結び付け（関係付け）て「**そこから生まれた予想**」を書きます。
4. 下の段には、**根拠のある予想**はどうやって生まれたのか、何と何を結び付けてその予想が立てられたのか、「**予想の立て方について思ったこと**」を書きます。

## 使用例 【夏の星空の動きについて予想とその根拠がどうやって生まれたかを振り返るとき】

1. 上の段の左側には夏の星空について気付いた**事実**（動画や観察から知った事実など）を書きます。
2. 上の段の右側には「**経験や動画・友だちの発言**から、**問題と似ていたり、関係ありそうだったり**することを連想し、それについて知ったこと」を書きます。
3. 真ん中の段には、上の段の2つを結び付け（関係付け）て「**そこから生まれた予想**」を書きます。
4. 下の段には、**根拠のある予想**はどうやって生まれたのか、何と何を結び付けてその予想が立てられたのか、「**予想の立て方について思ったこと**」を書きます。

例：観察で気付いた星の位置の変化やまわりの状況と、これまでの体験や知識から知っていた夕方の空は先に上の方から暗くなることを関係付けたから、**根拠のある予想**ができた

ふしぎエンドレス 理科4年「夏の星空」 記入シート

ステップ (7) 考え方の振り返り  
自分の「理由のある予想」はどうやって生まれたかを振り返ろう！

【振り返り】 予想の組み立て方

<p>ふしぎについて気付いたこと</p> <p>時間がちがうと夏の大三角が写ったり写らなかったりする</p>	<p>けい験や動画・友だちから知ったこと</p> <p>夕方に見えた空がしばらくすると真っ黒になる</p>
<p>そこから生まれた予想</p> <p>黒い空が上からきて、夏の<b>大三角の上の方の星</b>をかくしてしまった</p>	
<p>予想の立て方について思ったこと</p> <p>この前夕日を見て、感動したことを思い出して予想をたてました。 夏の<b>大三角</b>がこのあとどうなるのか、たしかめたいと思います。</p>	

NHK for School 著作権について <https://www.nhk.or.jp/school/help/>

※やるキットの記入例